



報道関係者各位

## エコマーク「太陽熱利用システム」 認定基準を制定します

(公財)日本環境協会 エコマーク事務局 (住所:東京都中央区、理事長:森嶋 昭夫) は、10月1日付でエコマーク商品類型 No.154「太陽熱利用システム」認定基準を制定しましたので、お知らせします。同日より、認定審査の申込受付を開始します。

### ◇「太陽熱利用システム Version1」認定基準について

太陽熱は、世界的に風力発電に次いで利用が盛んなエネルギー源であり、太陽光の40～60%を熱として利用できる太陽熱利用システムは、他の再生可能エネルギー機器と比べてもエネルギー変換効率や費用対効果が非常に高く、地球温暖化の防止や自然エネルギーの地産地消といった観点から非常に重要なカテゴリーです。

特に一般家庭でのエネルギー消費は熱利用が多く、その中でも50%以上を占める給湯や暖房などの低温熱利用には太陽熱の利用が非常に効率的です。2010年末時点で稼働している太陽集熱器557万m<sup>2</sup>から得られる年間集熱量を原油換算すると、約40万kl/年に相当し、一日当たりでは約1,100kl/日(ドラム缶5,500本分に相当)の節約にもなるともいわれています。

そこで、消費者認知度の高い環境ラベルであるエコマークにより、太陽熱利用システムが本来有している「地球環境への貢献」という付加価値を分かりやすい形で示し、幅広く消費者ならびに事業者の太陽熱利用への関心を高め、自然エネルギー利用の選択肢の一つとして推進していくことを目的とし、認定基準を制定しました。

「太陽熱利用システム」の認定基準書および解説は、エコマーク事務局ウェブサイト(<http://www.ecomark.jp/nintei/>)で公開しています。

以上

＜本件に関するお問い合わせ＞ 公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局 基準・認証課  
Tel:03-5643-6253 E-mail: [info@ecomark.jp](mailto:info@ecomark.jp)

#### ＜エコマークについて＞

国際標準化機構の規格ISO14024「タイプI環境ラベル制度」に基づく認定制度です。1989年に創設され(公財)日本環境協会が運営しています。環境への負荷が少ないなど、環境保全に役立つと認められる商品やサービスに以上  
けられ、消費者が暮らしと環境の関係を考え、環境保全の面でより良い商品を選びやすくすることを目的としています。エコマーク事務局ホームページでは、最新情報を随時アップしています。URL: <http://www.ecomark.jp/>